

【戦評シート】

平成27年11月22日(日)	協会名： 秋田県 バスケットボール協会	
場 所： 秋田市立体育館	記入者： 武石 康隆 増田 良	
チームA 山 本 5 1	17 - 8 9 - 8 16 - 14 9 - 13	チームB 城 南 4 3

スターター	チームA： #4、#5、#6、#7、#13
	チームB： #4、#5、#6、#11、#13
ディフェンス (試合開始時)	チームA： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()
	チームB： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()

今大会は、6年ぶりに決勝進出の山本中学校と、20年ぶりに決勝進出の城南中学校との対戦となった。

第1Qは、開始早々に城南#4齊藤のジャンプシュートで先制。すぐさま山本#5佐々木がレイアップシュートで入れ返す。城南の#13木村による速攻、山本のセンター#6小山内のミドルシュートなど開始3分間は互いに一步も譲らず、互角の展開。中盤から山本#4近藤(萌)の3Pシュートとアウトサイドシュートの合計5点で徐々に点差を広げる。さらに山本#4近藤(萌)がリバウンドシュートでファウルをもらい、フリースローを2本決める。それに対して城南#6浅利のレイアップシュートで応戦。終盤に、山本#6小山内、#4近藤(萌)がさらに得点を重ね、17-8の山本リードで終了する。

第2Q、開始すぐに山本が的確なパス回しから#13近藤(梨)が左45°からドライブをしかけ、バスケットカウントを決め、フリースローも決める。さらにゴール下でパスを受けてのシュートで#13近藤(梨)が連続得点。対して城南は#6長谷川のジャンプシュート、#4齊藤のトップからのドライブで得点を重ねて食らいつく。試合の流れが城南に傾きかけたところで山本が前半1つ目のタイムアウト。直後に城南の#6長谷川がシュートを決めると、山本の#6小山内がミドルシュートを決めて入れ返す展開。残り1分30秒で城南はオールコートマンツーマンでプレッシャーをかけて流れを引き寄せようとするも、山本#6小山内がベースラインのドライブシュートでバスケットカウントを決め、城南の追撃を許さない。前半を、26-16の山本リードで折り返す。

第3Q、流れを引き寄せたい城南は開始からオールコートマンツーマンでプレッシャーをかけるも、山本#6小山内がポストプレーからのシュートでファウルをもらい、フリースローを2本決める。対して城南の#13木村がレイアップシュートなどで連続得点すると、山本#4近藤(萌)がパスをスティールして得点、さらに3Pシュートを沈める展開。その後は、互いに粘り強いディフェンスで相手のミスを誘い、中盤は膠着状態となるが、城南#5浅利が3Pシュートを決め、徐々に流れを引き寄せていく。山本は終了直前に#7中田がトップからのドライブをしかけてバスケットカウントを決め、フリースローも確実に沈めて、42-30の山本リードで終了する。

第4Q、オールコートマンツーマンでさらにプレッシャーを強める城南に対し、山本#6小山内がゴール下での強さを見せ、リバウンドからのシュートを決める。城南は負けじと#5浅利が3Pシュートを決め、すぐさまボールマンへのプレッシャーをかけて相手のバックコートバイオレーションを誘う。流れが城南に傾きかけたが、山本の#4近藤(萌)がドライブからのシュートでファウルをもらい、フリースローも2本決めて流れを相手に渡さない。加えて山本はオフェンスリバウンドでも強さを見せ、#6小山内がフリースローで得点。対して城南は#6長谷川が連続でシュートを決めて粘り強く攻め続け、徐々に点差を詰めていくが、山本は#7中田がインサイドの空いたスペースを見逃さず、ドライブから得点。対して城南#6長谷川は、相手のファウルを誘ってフリースローを2本決め、残り時間が少なくなっても諦めない。しかし、山本は追撃を最後まで許さず、51-43で試合終了。山本が28年ぶり3度目の優勝を飾る。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。